

リリース 5.X から 6.1 への変更

1. 以下のコマンドを使うと、HTBasic で Caps Lock 機能を制御できます。
CONTROL KBD,0;1 または CHR\$(255)&"U"を使います。
CONTROL 文では、数値 0 と 1 を使って、Caps Lock の ON/OFF 状態を設定します。
OUTPUT 文の CHR\$(255)&"U"では、単に Caps Lock の状態をトグルします。

10	CONTROL KBD,0;1 ! Caps Lock を ON にする
20	CONTROL KBD,0;0 ! Caps Lock を OFF にする
30	OUTPUT KBD; CHR\$(255)&"U" ! Caps Lock をトグル
40	END
2. 「有効でない名前を持つファイル、あるいは存在しないディレクトリやファイルを CAT してもエラー表示されず、空リストが生成される。」
CAT を使用してファイル名をチェックするプログラムが、ASSIGN を使うように書き直された可能性があります。無効なファイル名、あるいは存在しないディレクトリに対する CAT が、エラー56「File or path not found(ファイルまたはパスが見つかりません)」を生成するようにしました。
3. 「CAT "*"が、Win95 では全ファイルを返すが、Win3.x や WinNT 環境では拡張子のないファイルだけを返す。」
CAT "*" を修正し、プラットフォームによらず常にディレクトおよび拡張子のないファイルのみをリストするようにしました。
4. UNC (Universal Naming Convention) に完全対応するようにしました。
5. 「HTBasic のウィンドウがリサイズされる度に、CRT 制御レジスタ 15,16,17 によってカスタマイズされたカラー設定がリセットされてデフォルト設定に戻る。」
これらのレジスタを修正し、設定された内容がウィンドウのリサイズによって変更されないようにしました。
6. 「30 文字を超える文字列では、CONFIGURE MSI コマンドが失敗する」
このコマンドが 256 文字を扱えるように改善しました。
注: ただし、PC のパス指定の最後には¥を含めたままにしてください。
7. 「ISC 26 割り当てが、LPT1 から LPT3 のポートに限定されている。」
有効なポートであればどれにでも ISC を割り当てられるようにしました。ネットワークへマップされたポートと物理ポートのどちらでも構いません。"CONTROL 26,102;X" で、指定のポート(lptX)に ISC 26 を割り当てます。

[お問い合わせ先]

アイネット株式会社 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 1-1-9 川合ビル 7F
Tel: 03-5623-2301 Fax: 03-5623-2305
E-Mail: sales@i2net.co.jp URL: <http://www.i2net.co.jp>

8. 「HP Rocky Mountain Basic のサブプログラムを使って、自分自身を含んだサブプログラム範囲を DELSUB すると、自分を消す段階でエラーアウトしても、指定範囲内の残りの sub は全て消去する。これに対して HTBasic では、指定範囲の sub を全く消去しないままエラーアウトする。」
機能修正し、ワークステーションと全く同様に動作するようにしました。
9. 「WIN32s の旧バージョンで RAM の使用量が 32MB を超えるとハードウェア問題が発生し、Win3.x 環境での DOS エラー 21 が起こる。」
今回のリリースでは、インストール時に WIN32s のバージョンを 1.30c に強制的にアップデートすることにより、この問題を解消しました。
10. 「ISC26 と PCL ドライバを使った EXPANDED オプションが正しく動作しない (1 行おきにインバートされる)。」
以下のオプションで、正しくダンプするようにしました。
CONFIGURE DUMP TO "PCL" & DUMP DEVICE IS 26.
11. 「Windows での設定が 256 色または解像度 1024x768 を超えた状態でスクリーンキャプチャやリストアを行うと、GLOAD が所在不明のオプションや設定エラーを生成する。」
DirectDraw 拡張機能の装備によりこの問題を解消しました。32 ビットウィンドウズ版のみで使用可能です。この拡張機能が有効だと、HTBasic の「スタート(start)」アイコンのスタートアップ・ラインに-X オプションが付きます。拡張バージョンをインストールするには、カスタムインストールを選び、directX 有効化オプションを選びます。これにより htbwinx.exe がインストールされ、新しい実行ファイルへのショートカットが作成されます。
12. 「IMAGE 文の後に使った感嘆符(!)が、コメント用デリミタとして認識されない。"- や "#」などの IMAGE 用コードが、!マークの後ろにあっても IMAGE 文の一部として認識される。」
!マークを常にコメント指定子として解釈するように修正しました。

```
10  FOR N=1 TO 10
20  PRINT "----- !"
30  PRINT USING Toto;"Hello",N
40  Toto: IMAGE "IMAGE 1 [",5A,"]",3D
50  PRINT USING Toto1;"Hello",N
60  Toto1: IMAGE "IMAGE 2 [",5A,"]",3D  !comment
70  PRINT USING Toto2;"Hello",N
80  Toto2: IMAGE "IMAGE 3 [",5A,"]",3D  !#comment
90  PRINT "----- ?"
100 NEXT N
110 END
```

[お問い合わせ先]

アイネット株式会社 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 1-1-9 川合ビル 7F
Tel: 03-5623-2301 Fax: 03-5623-2305
E-Mail: sales@i2net.co.jp URL: <http://www.i2net.co.jp>

13. 「Windows のプリンタドライバが大規模で煩雑だと WIN-DUMP ドライバが、ERROR 2 を起こす。」
上記 11 と同様、DirectDraw で修正しました。
14. 「 "x.x495" と "x.x500" の間の数値が、切り捨てではなく切り上げられる。
例えば、DROUND (12.3499,3) は 12.4 を返す」
数値を正しく丸めるように、修正しました。
15. リリース 6.x 以前では、ペン番号として 0 より小さい数を使うことができませんでした。
今回リリースからは負のペン番号に対応しています。これは正の番号を持つペンで描画された画像を消去するのに便利です。ただし、負の番号のペンで上書する場合は、対応する正の番号を持つペンに対してのみ行ってください。ペン番号を混同すると、予測できない出力を招くおそれがあります。
16. ON KNOB での定義内容がアクティブにならない限り、マウスでの操作は常に ON KBD 割り込みを発生させ、KBD\$バッファに上下左右いずれかのキー操作を伝えます。これまでは ON KBD 文ではマウス操作は無視されていました。
17. 「始めに同じデバイスに対して PRINTER IS をしておかないと、PRINTALL IS が正しく動作しない。」
PRINTALL IS と PRINTER IS が独立して動作するように修正しました。
18. 「NFS ドライブ使用時に CAT を実行すると、MEMORY OVERFLOW になる。」
NFS ドライブのマッピングを全て受け付けるように改善しました。
19. 「WIN-DUMP INVERT が正しく動作しない。」
DUMP 出力が正しく INVERT されるように修正しました。
これが機能するのは 256 以下の色数に限られます。例えば、
- ```
10 CONFIGURE DUMP TO "WIN-DUMP" !デフォルトでは INVERT は ON
15 !CONFIGURE DUMP TO "WIN-DUMP;INVERT" ! INVERT を OFF にする
20 MOVE 50,50
30 RECTANGLE 10,10,FILL
40 DUMP GRAPHICS
50 END
```
20. XREF でデータ量の大きいファイルやロング変数名を扱う場合： 40,000 行、10 行単位に行番号が振られます。行番号 132040 のラインを EDIT すると GPF エラーが発生するとともに、8960 行毎にも同様のエラーが発生していましたが、XREF でロング変数名を受け付け、行番号 132040 が使えるように修正しました。
21. XREF で 80 文字を超える行を取り扱う場合： フォーマットの問題が生じていましたが、1 行が 256 文字を受け付けるように修正し、解消しました。

---

[お問い合わせ先]

**アイネット株式会社** 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 1-1-9 川合ビル 7F  
Tel: 03-5623-2301 Fax: 03-5623-2305  
E-Mail: sales@i2net.co.jp URL: <http://www.i2net.co.jp>

22. 月名入力を 3 文字の省略形と完全形とのどちらでも受け付けるようにしました。

```
10 PRINT DATE$(DATE("10 FEB 1998")) ! 正常に動作
20 PRINT DATE$(DATE("10 FEBRUARY 1998"))! 年数が 0 になっていた
30 PRINT DATE$(DATE("10 MARCH 1998")) ! 年数が 0 になっていた
40 END
```

23. 「MAT 文を使って、次のような二元配列の要素を一元配列に割り当てることができない。」

ワークステーション上の BASIC と同様に動作するよう、修正しました。

```
10 ALLOCATE Tab1(1:5)
20 ALLOCATE Tab2(1:5,1:5)
30 MAT Tab1= (5)
40 MAT Tab2= (6)
50 CALL Tab1d_2d(Tab1(*))
60 CALL Tab1d_2d(Tab2(*))
70 END
80 !
100 SUB Tab1d_2d(Tabx(*))
110 ALLOCATE Tab(1:10)
120 IF RANK(Tabx)=1 THEN MAT Tab(2:4)= Tabx(1:3)
130 IF RANK(Tabx)=2 THEN MAT Tab(2:4)= Tabx(2,2:4)
140 ! <-> Here was Error 16
150 SUBEND
```

24. 「NT 4.0 環境では GPIBTNT ドライバのタイムアウトに問題が生じる。」

ドライバ名が GPIBTNT から GPIBNI に変更されました。これは Windows 95/98 および NT 専用の 32 ビット用ドライバです。このドライバは、Windows 95/98 環境下では、バス分析機能が組み込まれた plus "+" カードを除く全ての NI GPIB ボードに対応します。

また、NT 環境では、バス分析機能が組み込まれた GPIB PCI および the GPIB+カードを除く全ての NI GPIB ボードに対応します。

ご使用のカードがハードウェア・タイムアウト対応製品であれば、LOAD BIN に "TIMEOUT 0" と指定することでソフトウェア・タイムアウトを無効にできます。また、"CONTROL ISC,100;V" を使って、ハードウェア・タイムアウト時間 V を設定できます。設定値やその詳しい意味については、ハードウェア説明書をご参照ください。

ソフトウェア・タイムアウトをお使いになる場合は V を 0 に設定し、次の段落からの説明をご参照ください。この場合、"ON TIMEOUT n GOTO linenumber" 文中、n で指定されたタイムアウト値は無視されます。

---

[お問い合わせ先]

**アイネット株式会社** 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 1-1-9 川合ビル 7F

Tel: 03-5623-2301 Fax: 03-5623-2305

E-Mail: sales@i2net.co.jp URL: <http://www.i2net.co.jp>

ご使用のカードがハードウェア・タイムアウト対応製品でない場合、デフォルトでソフトウェア・タイムアウトが有効にされますが、LOAD BIN に"TIMEOUT 0"と指定してこれを無効化することもできます。"ON TIMEOUT *n* GOTO *linenumber*" の *n* には、タイムアウト時間を秒数で指定します。

ソフトウェア・タイムアウトとハードウェア・タイムアウトの両方を有効にすることができます。この場合、タイムアウト時間は、両者のタイムアウト値の合計に近い値になります。また、場合によっては、タイムアウト時間の予測ができなくなることもあります。

25. SERIAL32 ドライバのロード中に EXECUTE しても、もうシリアル・インターフェースがデフォルト設定に戻ることはありません。シリアル・インターフェースをデフォルトに戻すには、RESET X を実行して、リセットしたいシリアルポートの ISC 番号を X とし指定する必要があります。
26. 「SERIAL32 ドライバのボー・レートを変更すると、パリティがデフォルト値にリセットされる。」  
ボー・レートがパリティに影響しないよう、改善しました。
27. 「DUMP DEVICE IS <file> で LIF ASCII ファイルへのダンプを指定してもエラーが発生しない」  
この指定はすべきではありません。今回リリースからはエラー58が発生します。
28. 「DUMP DEVICE IS <bdat file> で、まず bdat ヘッダが消去され、それからスクリーン内容が指定の bdat ファイルへダンプされる。」  
ヘッダ情報を残すように修正しました。スクリーンのみダンプはビットマップファイルになります。スクリーンダンプのみが欲しい場合は、ダンプ先に異なるファイルタイプを指定してください。
29. 「PLOTTER IS <file> の場合、指定したファイル名が数字の"1"で始まる場合、SYSTEM\$ ("PLOTTER IS")で"6"を返す。」  
ファイル名全体を返すように修正しました。
30. ISC 10 および印刷用に、ON TIMEOUT サポートを追加しました。
31. PRINTER IS に LIF ASCII 形式のファイルを設定することはできません。これを行うとエラー58となり、ファイルへの割り当ては起こりません。以前はエラーメッセージのみを返して割り当てはそのままだったため、ファイルに認識不可能な文字が書きこまれるという問題がありました。

---

[お問い合わせ先]

**アイネット株式会社** 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 1-1-9 川合ビル 7F  
Tel: 03-5623-2301 Fax: 03-5623-2305  
E-Mail: sales@i2net.co.jp URL: <http://www.i2net.co.jp>